

1 調査名称：H30霧島市総合都市交通体系調査

2 調査主体：鹿児島県霧島市

3 調査圏域：鹿児島県霧島市域

4 調査期間：平成30年7月19日 ～ 平成31年3月20日

5 調査概要：

霧島市は、平成22年3月に策定した「霧島市都市計画マスタープラン」をもとに、市街地形形成及び都市施設の整備を進めてきている。当該都市計画マスタープランの目標年次である平成32年を前に、平成30年度から平成31年度にかけて、これまでの業績評価に対する検証と将来に向けての見直しを実施することとしている。

本業務の目的は、見直しに当たって近年の都市計画の動向を踏まえた「霧島市コンパクト・プラス・ネットワーク」に配慮する観点から、公共交通の利便性も考慮した総合的な都市交通に求められる都市計画道路をはじめとした都市施設の計画的な実行計画を作成するものである。

I 調査概要

1 調査名称：H30霧島市総合都市交通体系調査

2 報告書目次

序章 霧島市総合都市交通体系の概要

第1節 背景と目的

第2節 本計画の策定フロー

第3節 計画の期間

第1章 霧島市の現状と都市交通の課題

1-1 霧島市の現況

1-2 霧島市の都市交通の現状

1-3 これまでの都市交通の取り組み成果

1-4 霧島市における都市交通の課題

第2章 霧島市における都市交通の考え方

2-1 本計画の位置付け

2-2 都市交通が果たすべき役割

2-3 霧島市総合都市交通体系の基本方針

2-4 基本理念と目標

第3章 霧島市の都市交通の基本計画

3-1 基本計画の考え方

3-2 公共交通施策

3-3 施策パッケージの設定

3-4 数値目標の設定

第4章 協働による推進体制の構築

4-1 協働による推進体制の構築

4-2 目標達成に向けたマネジメント

資料編

資料1 霧島市のまちづくりにおける公共交通の問題点・課題

資料2 他自治体における公共交通課題に対する施策の事例集

3 調査体制

発注者：鹿児島県霧島市

受注者：株式会社 福山コンサルタント

4 委員会名簿等：

なし

II 調査成果

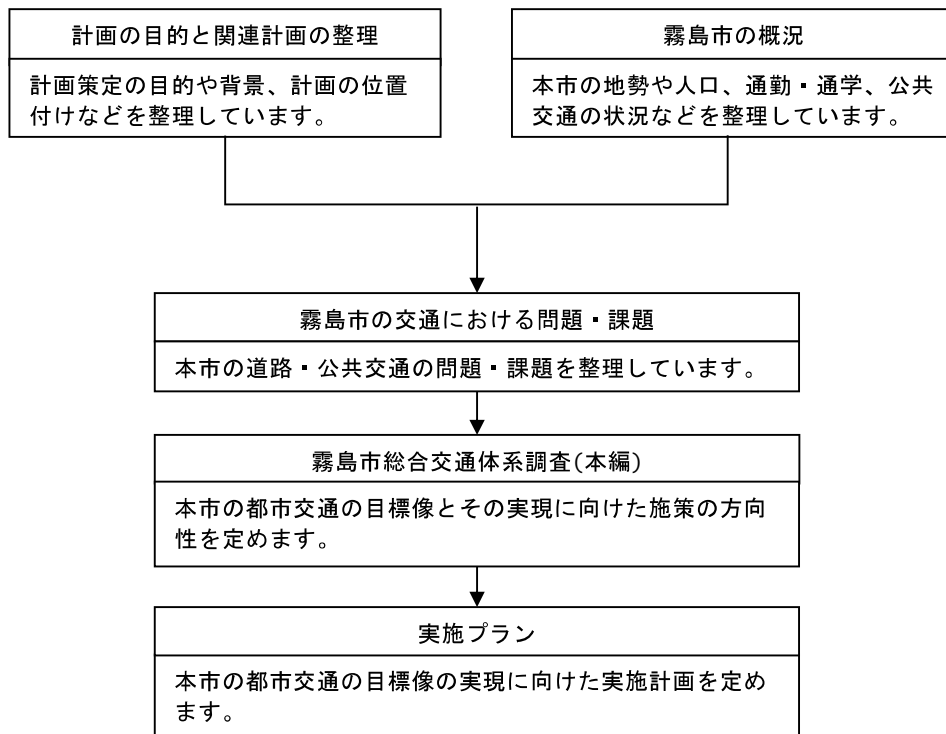
1 調査目的

少子化の進展に伴う人口減少や超高齢社会の到来、不安定な経済状況など、市を取り巻く社会情勢は大きく変わってきています。併せて、地球環境への負荷軽減、防災意識の高まり、量より質を求めるなど、行政に対する市民ニーズにも大きな変化が見られます。

こうした様々な社会情勢の変化に対応できる交通体系の構築を図っていくために、自動車や公共交通等の様々な移動手段における総合的な都市交通施策の指針が必要となっています。

霧島市総合都市交通体系は、本市の人の動きや交通の現状を踏まえた交通課題を整理するとともに、目指すべき都市交通の将来像とその実現に向けた施策の方向性を定め、本市における都市交通施策のガイドラインとして定めるものです。

2 調査フロー



3 調査圏域図



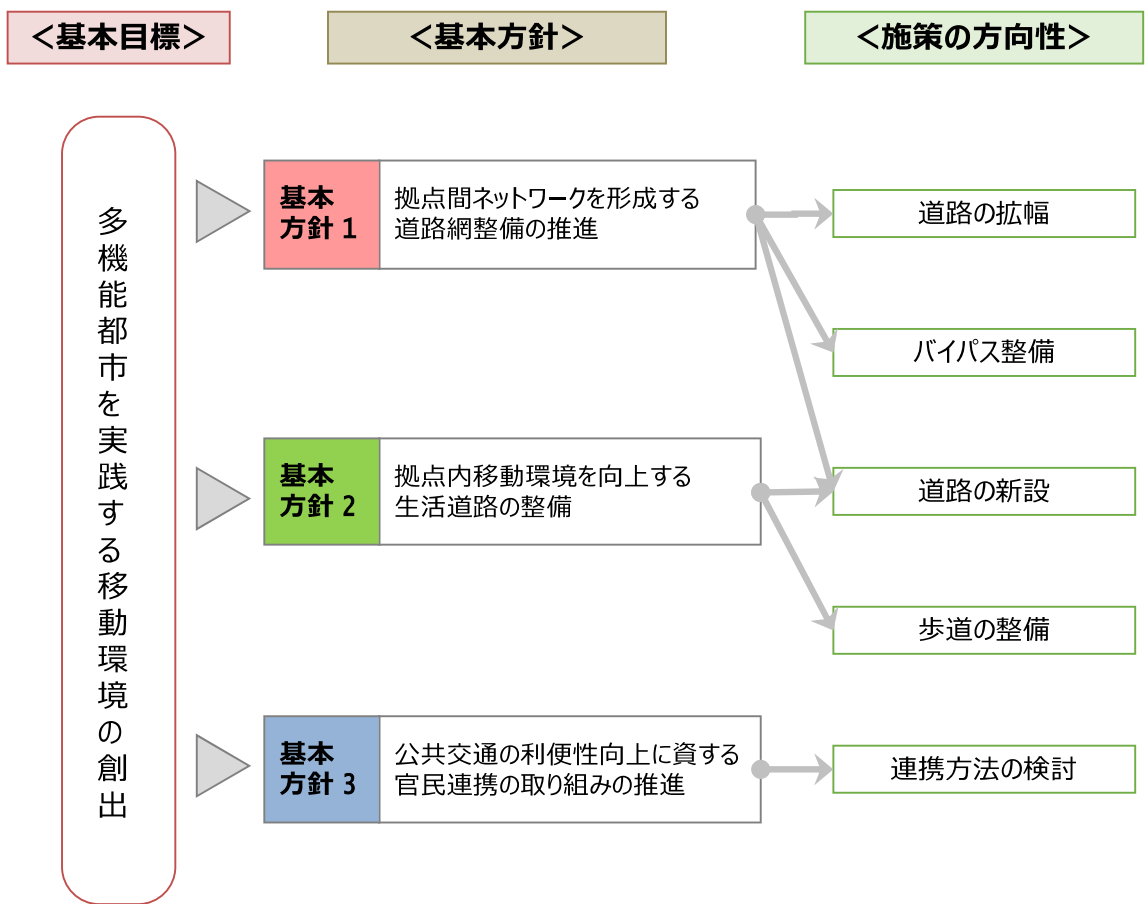
凡例

	低層住宅地		農用地
	一般住宅地		保安林
	商業・業務地		市街化適正誘導区域
	近隣商業地		用途地域指定区域
	沿道サービスゾーン		都市計画区域
	工業地		河川
	流通業務ゾーン		高規格幹線道路
	大規模施設		主要幹線道路
	田園住宅地域		幹線道路等
	丘陵森林農業地域		鉄道・駅
	山岳森林地域		地域界
	集落地		行政界

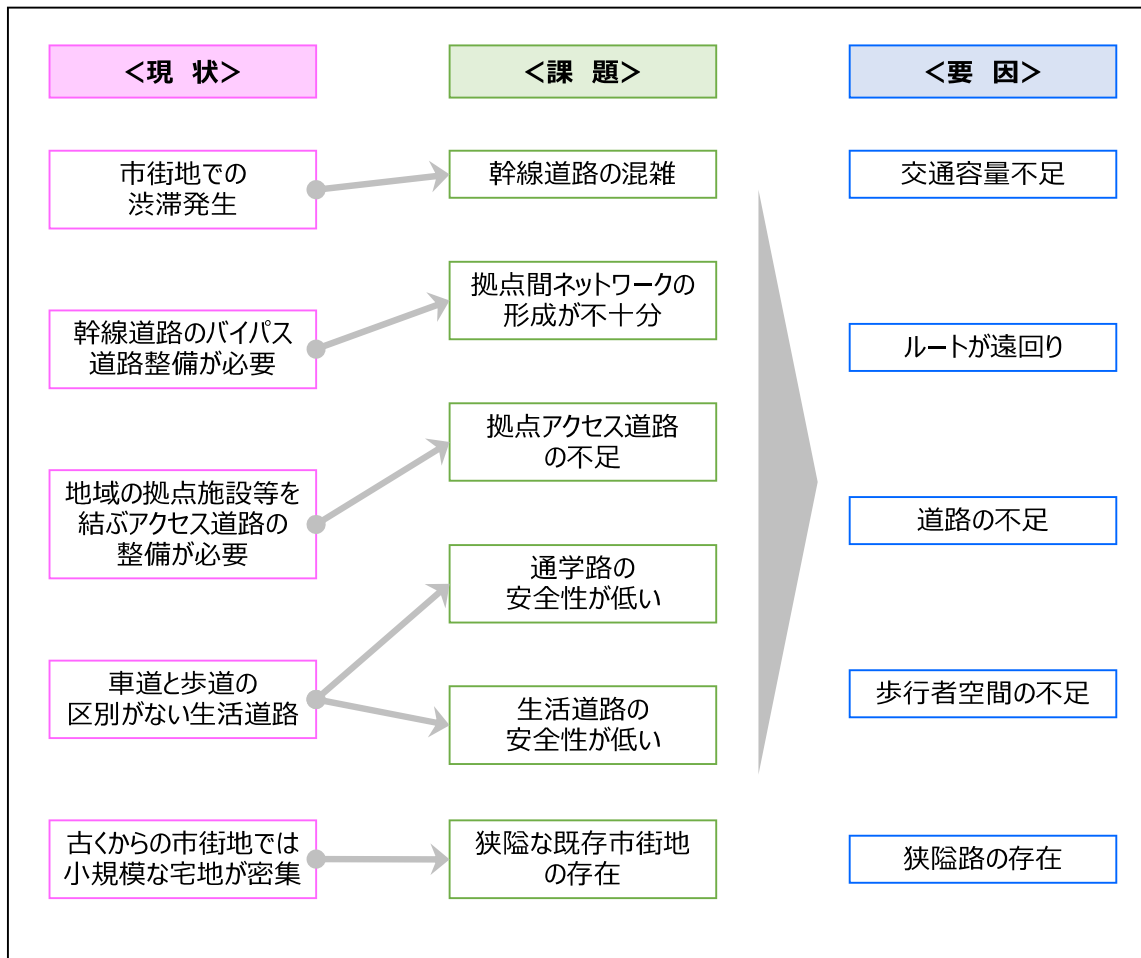
4 調査成果

基本計画の考え方

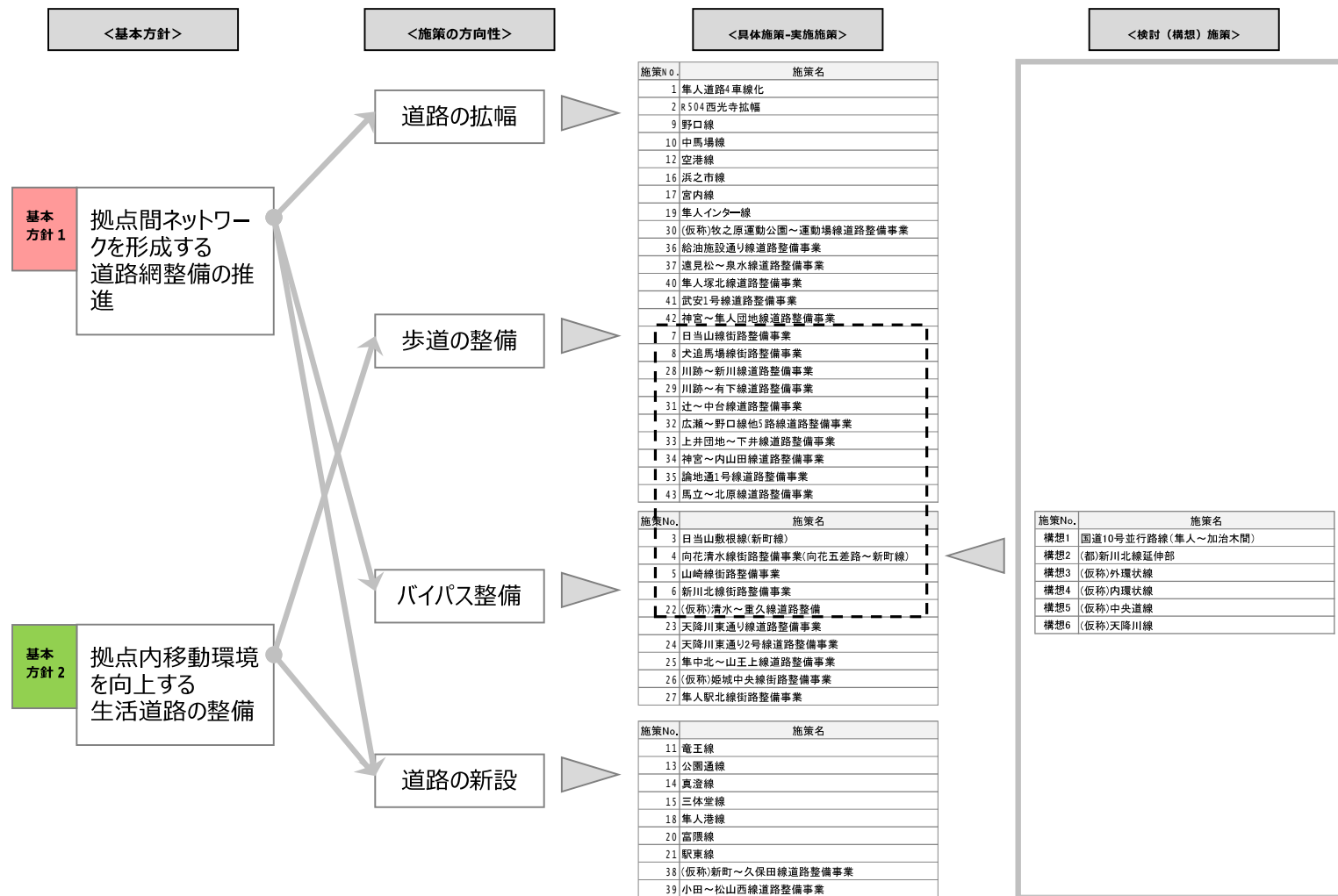
霧島の総合交通に関する基本方針に基づき、基本目標の実現に必要な施策の方向性を整理すると下図のようになります。



■ 課題要因の整理



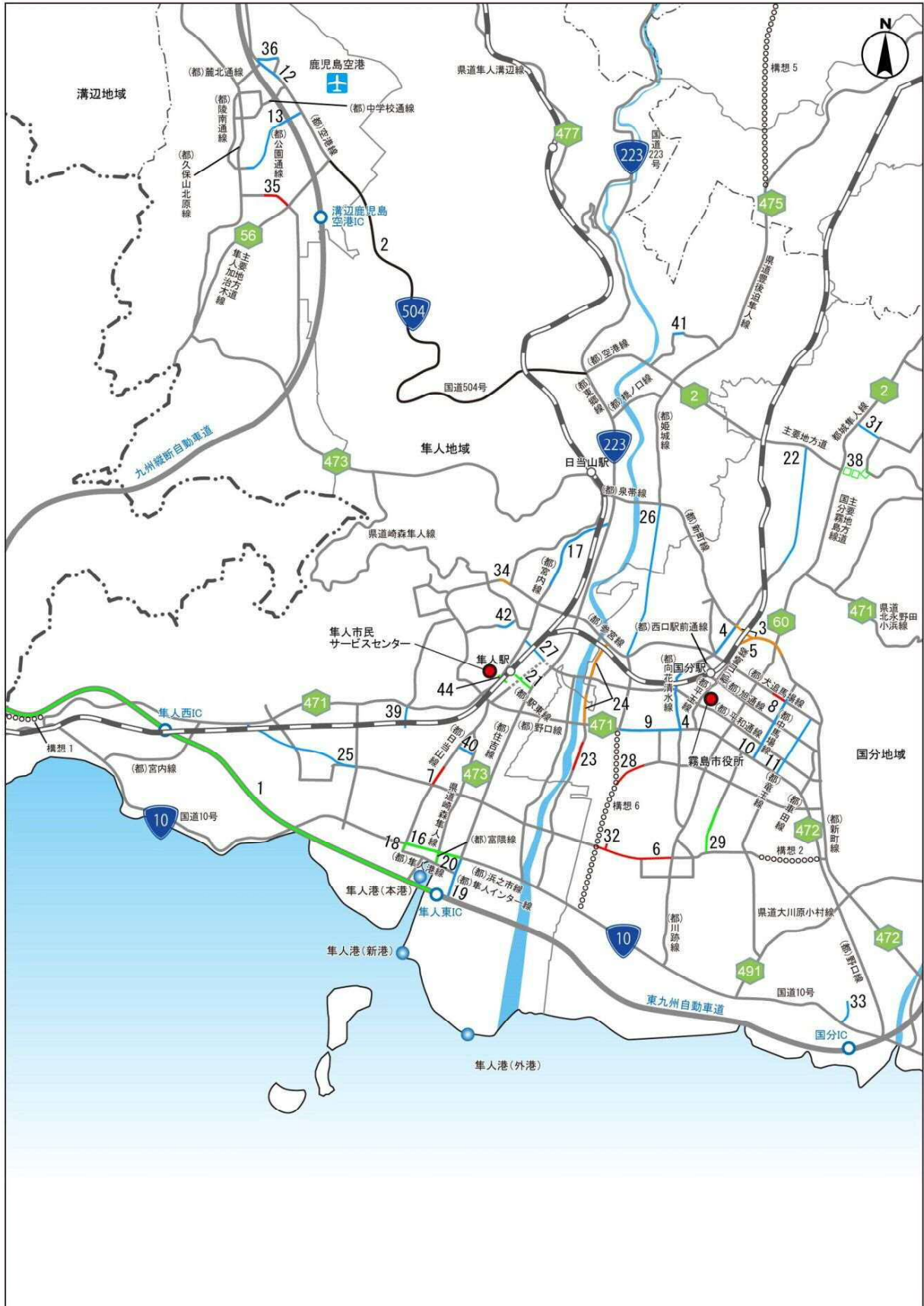
霧島市における道路交通の課題に対する施策の方針と、現在実施中あるいは計画されている施策を対応させると、下図のようになります。



施策構想路線の位置図（全体図）

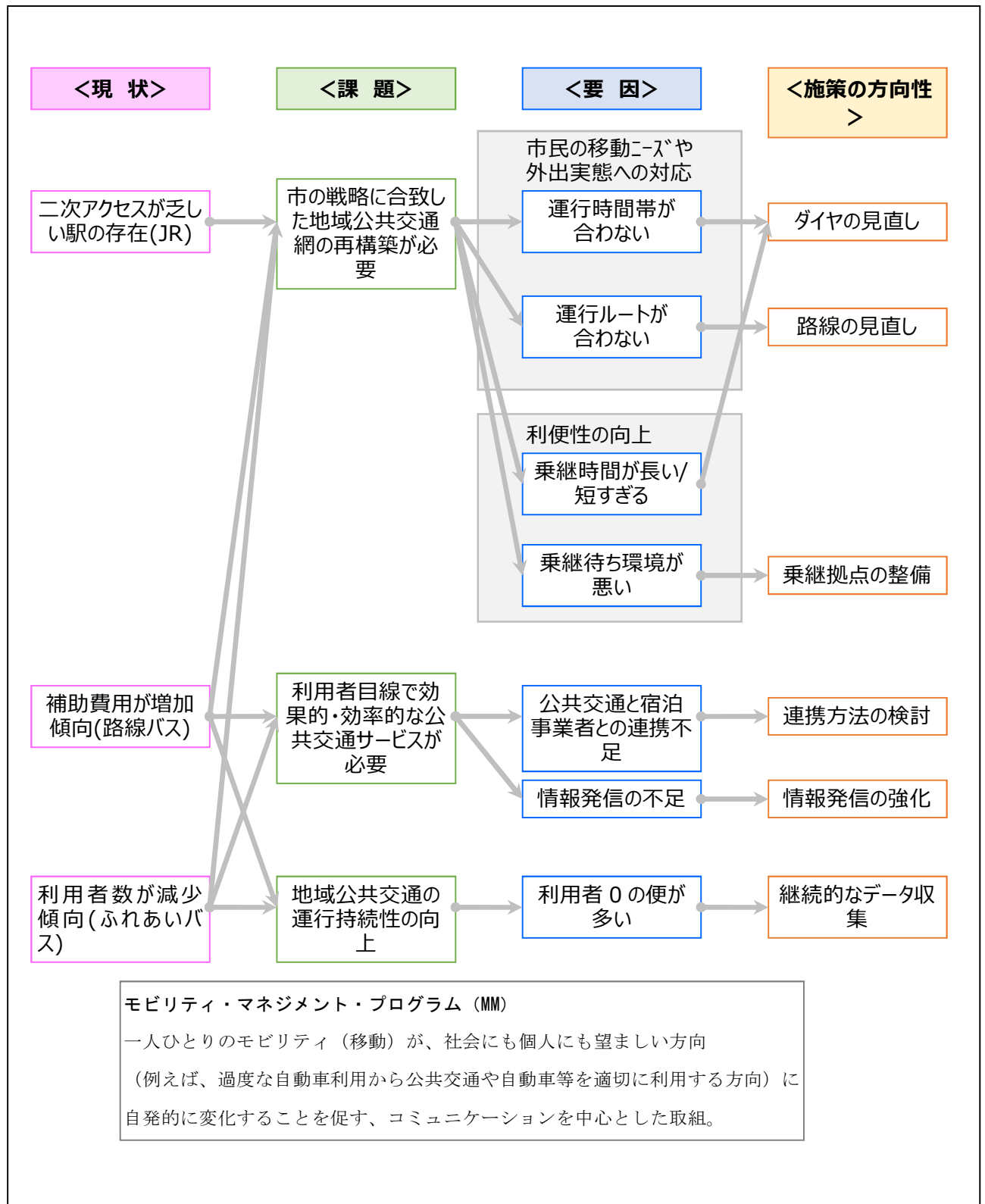


施策及び構想路線の位置図（市街地拡大図）



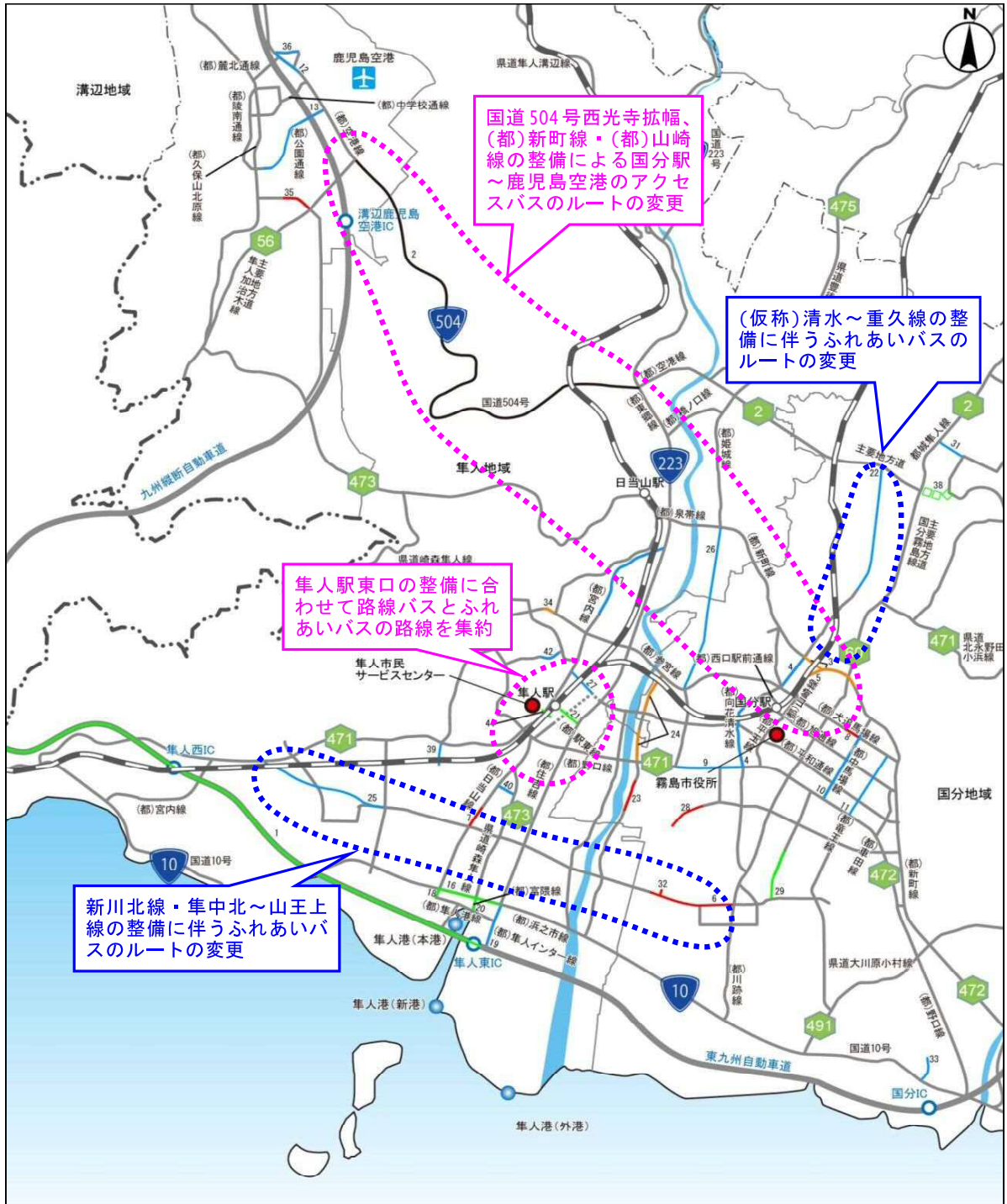
霧島市における公共交通の課題に対する施策の方向性を整理すると、下図のようになります。

公共交通の課題と対応施策の事例



施策パッケージの設定

目標の達成に向けて各種計画を踏まえ、ハード整備・ソフト施策を効果的かつ効率的に組み合わせた施策パッケージを設定します。目標達成に資する施策をとりまとめ、「都市交通やまちづくりの施策をパッケージ」化することにより、①重点的な施策の推進、②幅広い施策の官民連携による総合的、一体的な推進、③シナリオに基づく各施策の連携・連動といった相乗効果が期待されます。



施策パッケージの実施イメージ図